

令和二年三月一日発行（毎月一回）日
書 象 第六十八巻 第三号 通巻七二号

書 象

日本書道芸術協会
SHO JAPAN
設立1951年
代表理事 山本 浩一
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112
E-MAIL sho@sho-japan.com



日本書道芸術協会

2020- 3

書象会のアイデンティティ

常任理事 魚住 卿山

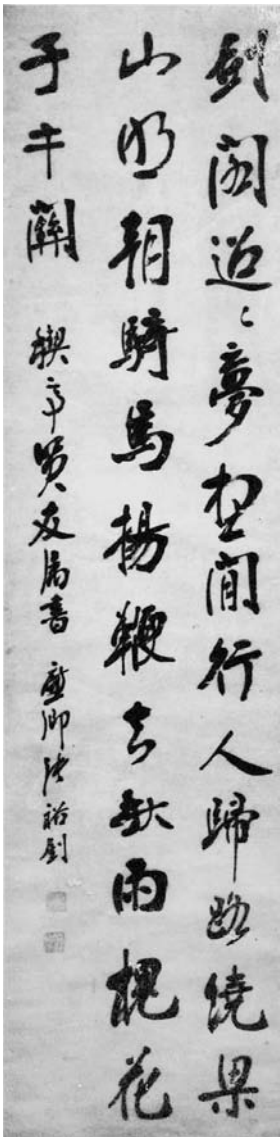
近年、よく使われるようになった言葉の一つに、「アイデンティティ」があります。アイデンティティは共通認識、あるいは自己同一性と訳され、例えば徳島出身の人は、阿波踊りのお囃子が聞こえてくると、誰もが自然にそれに合わせて指が動き出すようで、まさしくこれがアイデンティティです。

書象会員にとってのアイデンティティは、上條信山先生によって確立された、信山流として通ずる書法イズムです。展示会場に多くの流派が集まる中で、信山流の作品を見つけると胸が熱くなるのは、私たちの心の中に備わったアイデンティティが、強く誘発されたからに他なりません。

信山イズムは上條先生一人によって切り開かれたものではなく、格式高い歴史的由緒を持つものです。中国の清代に、石や金属に刻された文字を研究する金石学が勃興し、それによって碑学派と呼ばれる書法の思潮が盛んになりました。そしてその中心人物に張廉卿（本名は裕釗、廉卿は字）がいました。最高学府である保定府（河北省）蓮池書院の主講（大学長にあたる）などを勤めた大学者です。明治二十年（一八八八）に宮島大八（のちの詠士）は、二十歳の若さで単身、蓮池書院に張廉卿の門を叩き、やがて武昌（湖北省）、襄陽（湖北省）、西安（陝西省）を転々とする師に八年にわたって随従し、その死に水をとった、ただ一人の弟子となりました。そして、帰国すると東京代々木に中国語学校善隣書院を設立して経営するかたわら、張廉卿書法を踏まえながら、強靱な自己の書法を確立してきました。その代表作に「内閣総理大臣犬養公碑」があります。

上條先生は宮島詠士の最晩年の弟子でしたから、直接教えを受けた機会は、そう多くはなかったことでしょう。しかし、先生は詠士の残した書作、さらには張廉卿の書作を徹底して追求し、時代の変化に対応しつつ、その書法を一步一步樹立して、一世を風靡されました。その流れを汲む私たち書象会員には、張廉卿、宮島詠士に発し、上條先生によって成就された書法精神を、アイデンティティとして次の時代に伝えていく、重大な役割があるのです。

張裕釗書





春風日々帰る

3月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

楷書臨書規定【臨規】
(師範・準師範・段位)

化度寺碑

上條信山先生書

於 是 銖 鉞 軒 冕

於是銖鉞軒冕。

3月20日必着
出品券を貼付

於 是 銖 鉞 軒 冕

・文字の中心に気をつけて伸びやかに書きたい。
・横画の右上りや、文字中の空間にも気をつけたい。

楷書臨書規定【臨規】（級位）

化度寺碑

上條信山先生書



（聞）法【海】之【微】（妙）

- ・偏と旁の大きさ、概形を意識して書きた
- い。

- ・スピード感あふれる直線的な線を心掛ける。

「法」

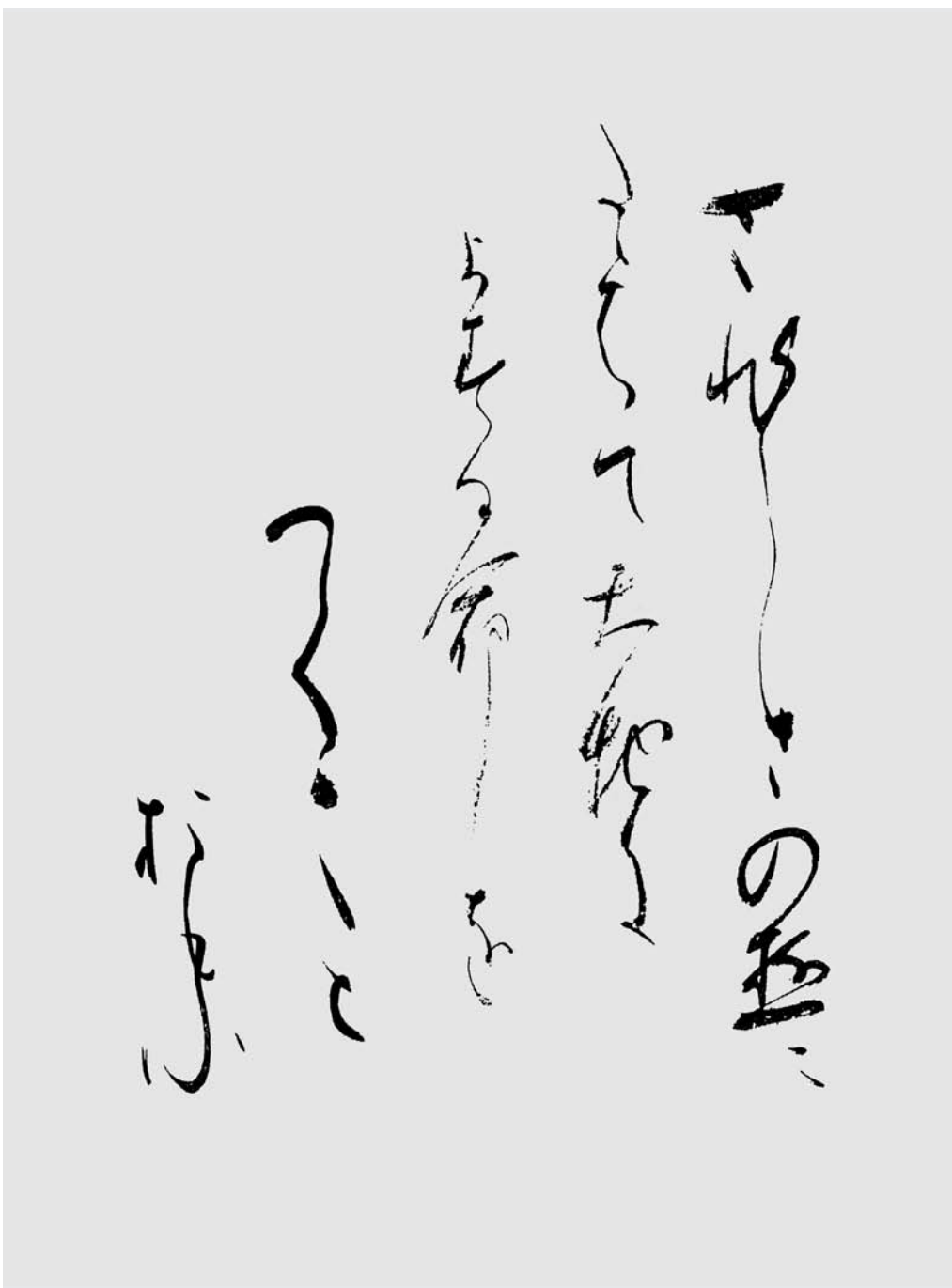


「微」



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書



さび(非) しさの極に(二)た(多) えて天地に(尔)
 よす(春) る命をつくづ(く)く(く)とお(於)もふ
 (伊藤左千夫)

3月20日必着
 出品券を貼付

・縦に流れるリズムと
 大胆な動きを心掛ける。
 ・運筆の速度、潤渇で
 変化をつける。

【ひ(非)】

ひ

【極】

極

【天地】

天地

【よす(春)る】

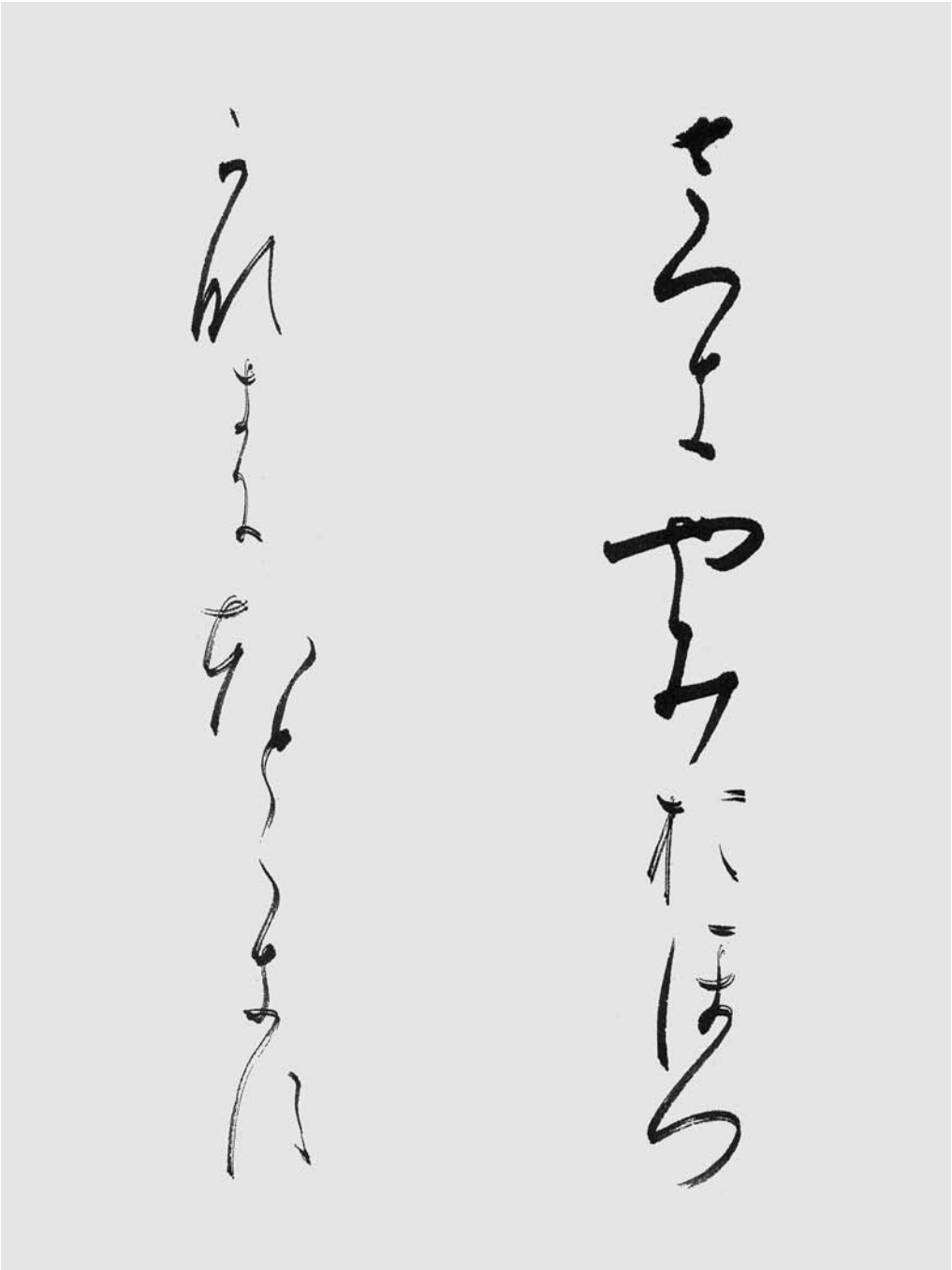
よする

【命】

命

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



さつき(支)やみお(於)ぼつか(可)な(那)き(支)に(尔)
ほ(本)とと(々)ぎ(支)す(須)

・二字、三字、四字、

五字と連綿の文字数を増やして書いてみる。

・左右への振幅をなめらかにできるようにくり返し練習したい。

「さつき(支)」



「やみ」



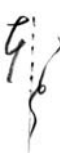
「ぼつ」



「か(可)な(那)」



「ほ(本)と」



研究【研究】

「張猛龍碑」 臨書

积文 在民。何以鼻情。



杉山曉雲先生書

錦光(集字)



山口啓山先生書



今月のポイント メリハリのある用筆を意識する。

※どちらか一体を出品してください。

3月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

隷書条幅規定【条規】

樋口玄山先生書

段級位を明記のこと



山寒く訪梅に好し（韓愈句）

- ・「山」「寒」は墨量豊かに書く。
- ・「好」「訪」「梅」は偏と旁の大きさ、高低のバランスに気をつける。
- ・「山」「好」はP14参照。

条幅随意【条随】

内藤望山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



国ヲ去ッテ三巴遠ク楼ニ登レバ万里春ナリ

（盧僊詩句）

- ・漢字は左傾に構えて流れを出す。
- ・書き出しは同太の線表現で重厚に。
- ・カタカナの左払いの角度・細太の変化を加える。
- ・全体にスピードを加えて力強い表現を心掛ける。

歩元氣に

中学一年規定 【学毛】

小淵石峯先生書

作独自の

中学二・三年規定 【学毛】

樋口玄山先生書



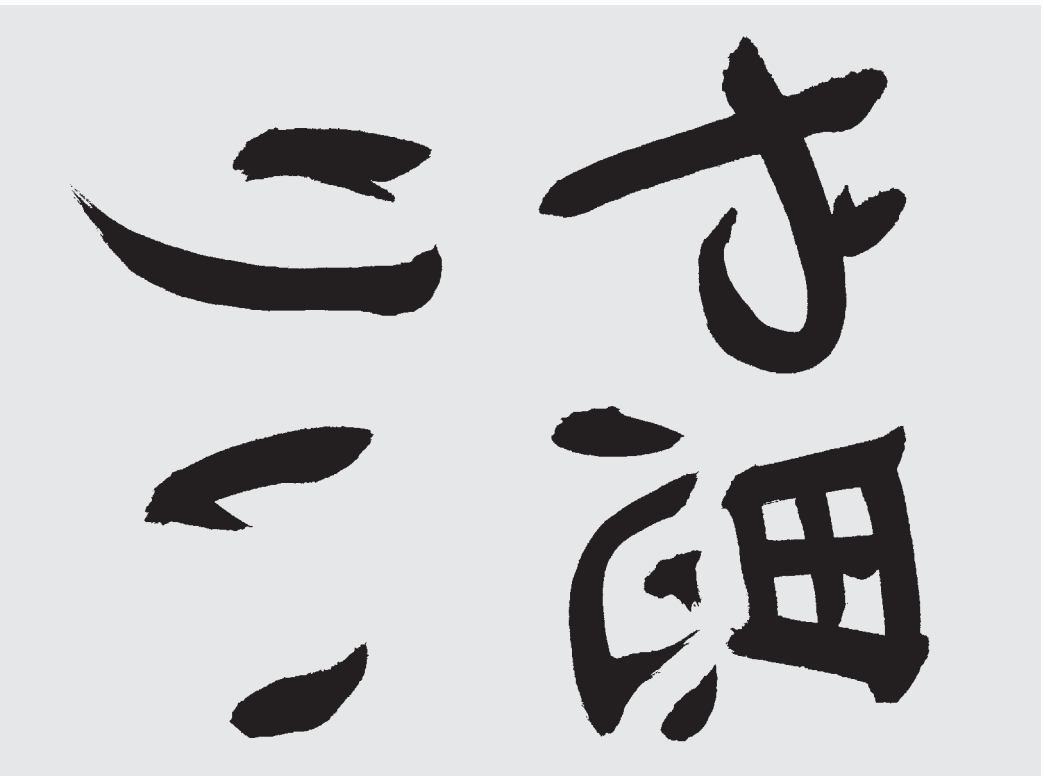
小学五年规定 【学毛】

山口啓山先生書



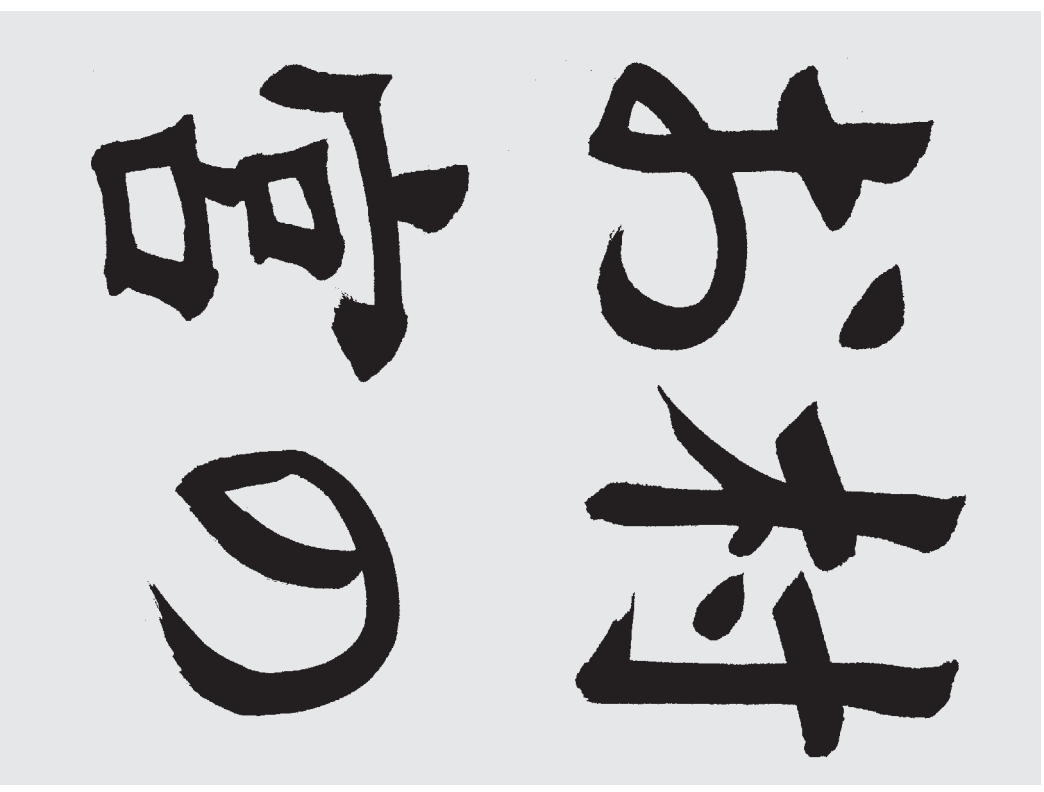
小学六年规定 【学毛】

中村嶺山先生書



小学三年規定 【学毛】

竹内墨洋先生書



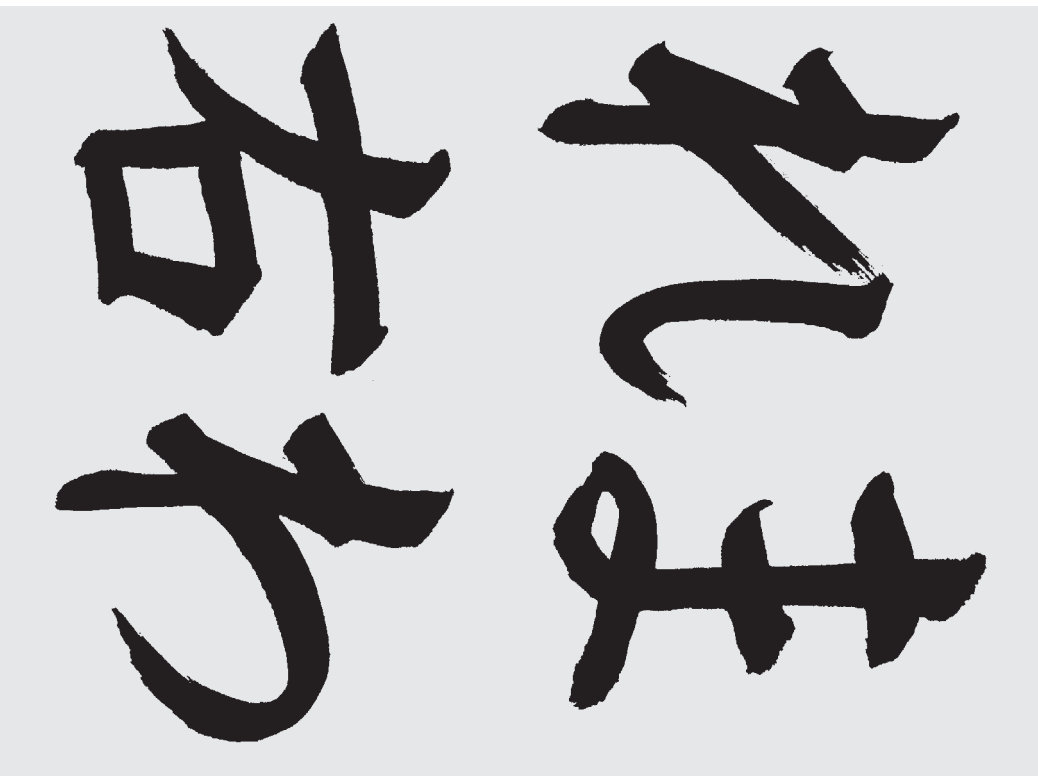
小学四年規定 【学毛】

寺尾碩雲先生書



小学一年規定 【学毛】

大島松山先生書



小学二年規定 【学毛】

柳澤玄嶽先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書

日記には堅苦しい形式は(八)要らない。ただ(七)その名のとおり毎日つける習慣が(可)求められようしその為にはできるだけ簡潔であることが必要である。

日記には堅苦しい形式は、要らない。ただその名の通り毎日つける習慣が、求められようしその為にはできるだけ簡潔であることが必要である。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶 嶽風 先生書

人間は自分自身がはりめぐらした意味の網の中にかかっている動物である。クリスド、ギアーツ

中学規定【学硬】

山口 啓山 先生書

進歩という言葉に惑わされるな。自然に対し謙虚であれ、何よりも誠実さが大切だ。

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

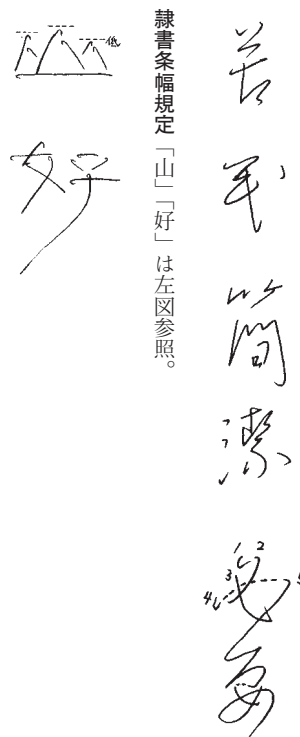
表現自由。入選作のみ発表します。出品券を貼付して下さい。

小・二年 学	貝	小・三年 学	発
小・五年 学	印象	中 学	勇姿

手本解説

・硬筆一般規定(師範・準師範・段位)「苦」「式」「簡潔」「必要」は左図参照。

・隷書条幅規定「山」「好」は左図参照。



学生部規定



中学二・三年



中学一年

「独」は虫の下部に余白をとる。「創」のりの二画目は長くし、かり立てる。「的」は白と勾ともに縦長にして調和を図る。「作」は乍の横画の方向を右上がりて統一する。「品」は三つの口の調和を図る。

「元」の儿は下部を揃え、「気」は気のそりとメの組み立てをバランスよく。「に」は一・二画目の筆脈を意識する。「歩」はひし形を外形とし、四画目を最大幅に。「く」は中心より右側から書き始める。

小学五・六年規定【学硬】

杉山 晓雲 先生 書

卒業式の練習を終えて、先
生とクラス全員で土手道の
お花見をした。

名前 支部 年 級段

小学三・四年規定【学硬】

小川 仙草 先生 書

わたしの家では春になる
と、べんとうを持って花
見に行きます。

名前 支部 年 級段

小学一・二年規定【学硬】

宮 本 耕 成 先生 書

あ	は	て
さ	犬	い
早	の	ま
く	さん	す。
わ	ぼ	なまえ
た	を	支部
し	し	年
		だん
		きゅう

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。
作品の大きさを下へたて18 cmよこ7 cm 小一・二課題↓2.1 cmのマス目
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の罫線を引く。



小学六年

「桜」はツの点画を等間隔に。「の」は
中心線上から書き始める。「名」の口部、
一画目と二画目を離す書き方は許容。
「所」の戸は上下に空間を取るようにし、
斤とのバランスを図る。



小学四年

「村」の縦画は横画の二対一の所で交
わる。「の」は文字の中心から始筆し、中
心で払いが終わる。「お」は大きく回る
線の角度に注意する。「宮」は△を最大
幅にし、口は扁平に縦画を内側に向ける。



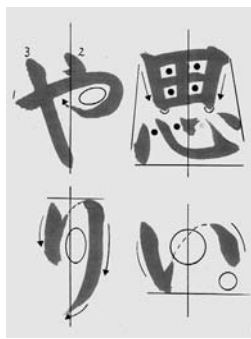
小学二年

「ま」は一・二画目の長さで丸みに注意
する。「わ」は一・二画目の交わり方が
ポイント。「れ」は最後の払いで全体のバ
ランスをとる。「右」は筆順に注意し、ノ
は中心線上から左下に払う。



小学五年

「光」は凡の始筆を横画に浅く接するよ
うに書く。「る」は三角形を外形とし中心
線上で結ぶ。「氷」の二画目は縦画と接し
ないよう書く。「面」は横画の方向を揃
え、空間の取り方に注意する。



小学三年

「思」は田の下部を引き締め、心は扁平
に書く。「い」は線にふくらみを持たせ直
線的にならないように。「や」の曲がり
あまり広くしすぎない。「り」の字形は縦
長にし、左右にふくらみをつける。



小学一年

「ほ」の一画目は左にややくらみを持
たせてのびやかに書く。「ん」の外形は
三角形。斜角の中ほどで折り返し、最後
は右上に向かって払う。

古典研究シリーズ ④④ 【古典】

乙いっ 瑛えい 碑ひ

後漢・永興元年（一五三年）

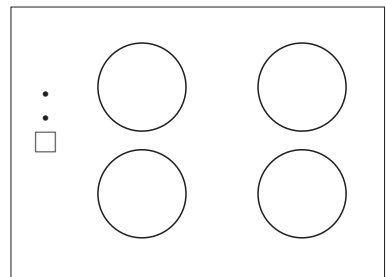
今月のテーマ

写実的臨書
大字（四字）

書き方

- ① 文字数は四字。左の4つの中より選んで書いて下さい。
- ② 半紙は横にして書いて下さい。
- ③ 落款を入れて下さい。
- ④ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。
(編集部)

〈作品イメージ〉



讚言 神示



故古 特牛 立立 廟廟



四四 時時 來來 祠示



廟廟 有有 禮示 器器

「上條信山近作選（一九八三年）」その3

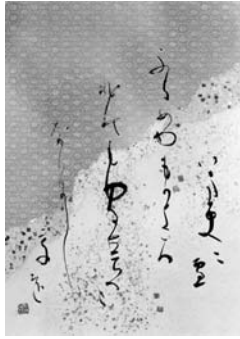
⑨ 陸放翁詩



⑨ 「茜陵旗亭雅集写所懷以似応試諸子」



⑩ 万葉歌



⑪ 西郷南洲詩「偶成」



⑨ 陸放翁詩「樓上醉歌」（一九八〇年 現代書道二十人展）

円形高級料紙に十行、丸く美しくまとめられて何とも上品、優雅である。円形周囲の広い余白と各行間の広さをほぼ同等におき、限りなく明るい。五、六行を作品の中央に置き、その下部に他行が寄り添うように運筆されて清々しい。まるで急峻な深谷を縫って流れる谷川のような清冽な印象を受ける。

⑩ 万葉歌（一九八一年 古希小品展）

仮名界の先輩、尾上柴舟先生から直接指導を受けられたこともあったようである。その後、伝藤原行成の粘葉本和漢朗詠集を基本に学ばれている。しかし、信山先生の仮名作品は行成流ではない。漢字の力を根底に行成流をとりに入れた表現である。この作品は美しい料紙に濃いめの墨で潤渇と細太の變化を生かした表現となっている。漢字作家の力強い表現は魅力的である。

⑪ 西郷南洲詩「偶成」（一九八二年 上條信山展）

南洲西郷隆盛の詩の書き下し文を漢字と片仮名でほぼ同じ大きさで書かれている。信山書法は直線的な片仮名がよく調和する。作品は何れも縦長で構成されており、四行が中心線を貫くように運筆されていて全体を引き締まりが強い。長めの縦画は視覚的効果が高い。逆筆と筆の開閉による立体的な文字形象が作品を高めている。

⑫ 自詠「茜陵旗亭雅集写所懷以似応試諸子」（一九八三年 上條信山展）

信山先生の自詠五言四十句からなる長編詩である。行間を広くとりながら上下左右自在に展開する表現は他に例がない。美しい料紙に食い込んだ書線は大変伸びやかで、誰の目にも爽快である。細字ながら懐の広い文字構造で、しかも短い線も逆筆でよく効き、長く明るい。

（理事長代行 内藤望山）

第61回 有山社書展

会 期
会 場

一月十四日(火)〜十九日(日)
セントラルミュージアム銀座

賛助出品



田中節山



市澤静山



内藤望山

截斷衆流

啓山

山口啓山

君去春山恨
名遊夏水
流

花山書

荻田光山

溫故而知新

靜月

恩田靜月

日：河蓬見
少流傷
春未已復
悲秋山中
蒼苔
空無人
往來
往來
空
白
頭

久保妍山

久保妍山

芳對無人花
自無春
山一路鳥
空啼

小室

小澗石峯

雲騰致露結
為霜
金呈
翠水
玉出
崑崙
鉅珠
臣開
珠璣
夜光
珠
珍
李
茶
菜
重
芬
華
海
賦
河
流
鱗
羽
翔
龍
脚
火
帝
萬
官
人
皇
始
制
文
字
乃
服
衣
裳
推
位
讓
國
育
雲
雨
唐
而
民
伐
罪
周
費
殷
聘
生
朝
問
道
去
無
年
章
愛
育
黎
首
臣
伏
戎
羌
退
還
壺
龍
不
日

小室墨汀

天晚日沈
孤舟繫柳陰
江村平見寺
山郭遠聞鐘
對密林
響者波澄
厲
影
疎
螢
華
暫
時
事
誰
識
于
陵
心

杉山曉雲

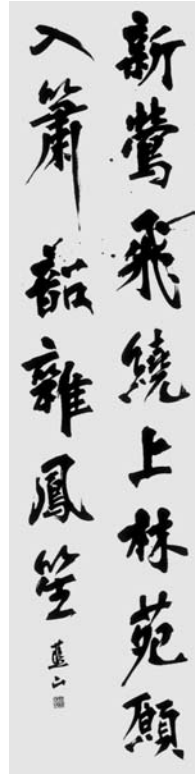
杉山曉雲



関 香 風



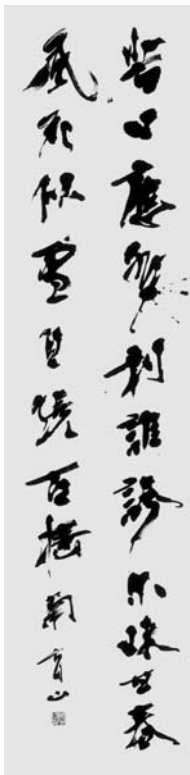
竹 内 青 紗



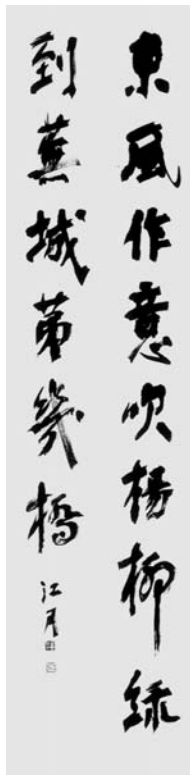
竹 内 藍 山



杉 山 窓 影



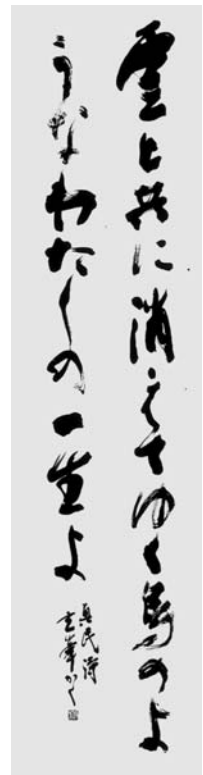
樋 口 玄 山



西 野 江 月



中 内 真 意



露 崎 玄 峯



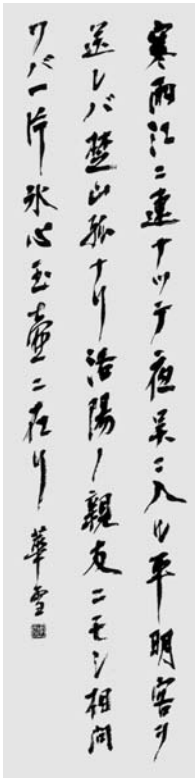
藤森大節



宮本耕成



柳澤玄嶽



渡辺華雪

第二十九回 謙慎書道会西部展

会期 令和元年十二月六日(金)〜八日(日)
会場 四国大学交流プラザ



石丸曉風



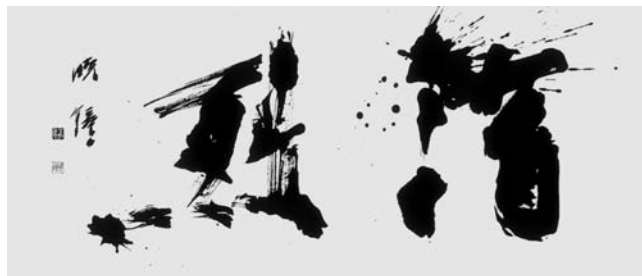
久保妍山



宮本耕成

第二十四回 謙慎書道会 甲信北越展

会期 令和元年十二月十一日(水)～十七日(火)
 会場 山梨県立美術館



故 虎 井 曉 鐘



大 島 皎 山



畑 中 高 山



寺 尾 碩 雲



竹 内 墨 洋

書象かな会 会員募集

「かな」を勉強してみませんか？「信山流かな」はもちろん、古筆の臨書や調和体なども学びます。これまでに長く「かな」を勉強されてきた方はもちろん、初心者の方も歓迎です。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

会費 年間二万円（年四回）

日程 四月「かな会講習会」 四月十九日（日）
午後一時～四時

武蔵野市民文化会館

- 六月「かな会講習会」 日時・会場未定
- 九月「かな会講習会」 日時・会場未定
- 十二月「かな会講習会」 日時・会場未定

内容

- ・かなの基本と応用
- ・古筆臨書
- ・調和体
- ・その他

○基本から作品づくりまで、徹底して信山流かなを学習します。

○初心者の方も大歓迎です。

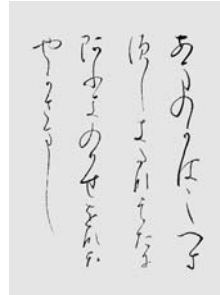
申込 参加希望の方は、書象会事務局までお電話ください。

書象会事務局 ○四三二一五三一九七四三

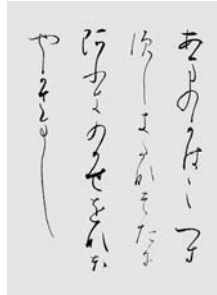
令和元年度の秀逸作品紹介

〈基本コース〉

齊藤悠花

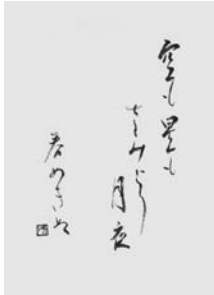


田中和成



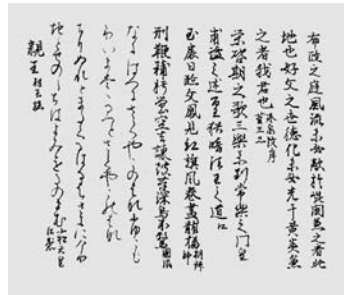
〈応用コース〉

本橋芳月

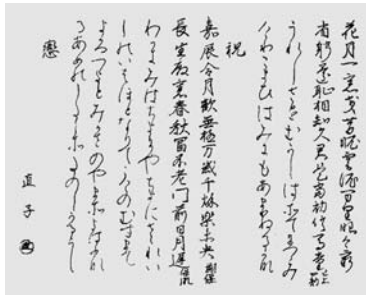


〈応用コース〉

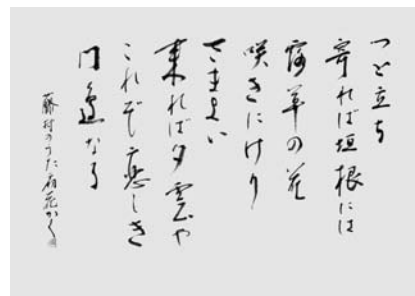
久保田麗香



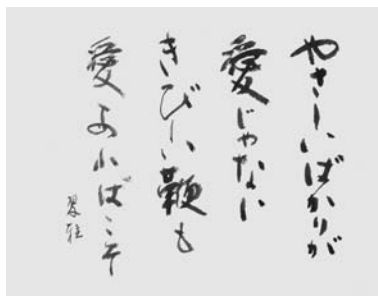
松崎直子



漆畑扇花



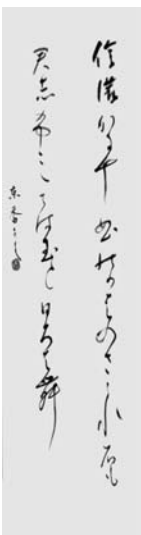
遠藤翠雅



三浦径石



佐藤京香



有象学生書展

会期 十二月十四日(土)～十五日(日)
 会場 武蔵野芸能劇場 小ホール
 代表 田中 節山
 青木 雪花 有馬 花嵐 北井 珠虹
 鈴木 虹苑 田中 珠光 畑田 穂苑
 日比野照悦

令和元年も残りわずかの十二月十四日、二年に一度の有象学生展の開幕です。かつて三階の劇場で「忠臣蔵」が上演されたかもしれせん。この日、高輪の泉岳寺では「義士祭」が盛大に行われたようです。幼児から高校生まで、百三十二人の義士ならぬ少年少女の並々ならぬ真剣な、思いのこもった作品が並びました。三人の幼児の本当に子どもらしい伸び伸びと書かれた作品や学年が上がるにつれて一生懸命に努力の後が見られる作品も掛軸に仕立てられ立派に展示されました。

会場の一角に用意された大きなテーブルには、少年少女の面々が自分の好きな漢字を思い思いに書いた筆文字の絵馬が並びました。練習もそこそこに一発勝負で書かれた絵馬は、皆の注目を集めていました。二日間の展示ではもの足りない展覧会でした。
 (畑田穂苑記)



好きな漢字を絵馬に書こう！



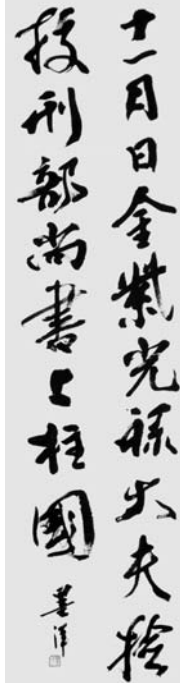
整然と並んだ力強い作品

木曜会 古典臨書作品

木曜会は古典研究の発表の場でもあります。大きな展覧会出品時は作品研究です。作品づくりに古典研究なくては深化はありません。その研究成果をご覧下さい。

争座位稿 (唐 顔真卿)

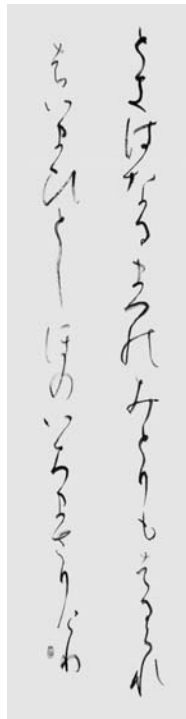
竹内 墨洋



信山先生は、作品の制作にあたって、「おい、こんな細かい線の作品は駄目だ。顔真卿を臨書して来い。」とよく話された。今回の作は、含墨もよく、豊かで、流れのリズムも出ている。創作にプラスになる好臨書であろう。(解説 田中節山)

粘葉本和漢朗詠集 (平安 伝藤原行成)

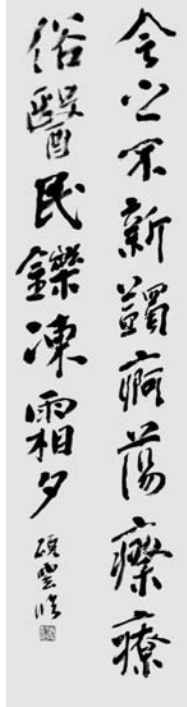
日比野 汀華



信山流の仮名は、行成が基本となっている。作者は形、連綿を手本に忠実に臨書している。これは、半紙に機械的に練習し、それを半切二行にうまくまとめた。更に他の歌も意欲的に挑戦するとよい。(解説 中村巍山)

温泉銘 (唐 太宗)

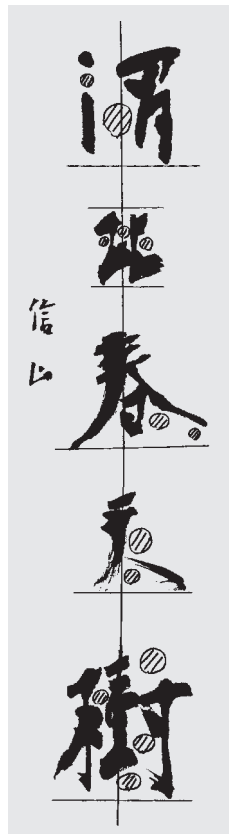
寺尾 碩雲



温泉銘を習おうという人が少ないのは碑面の損壊が多く、臨書にストレスを感じるが故であろう。碩雲さんの法帖のコピーを見せて頂いたが、筆を執る前に徹底した文字研究を済まされている。この学究力があって今の大成があるのだと知らされた。さて太宗の書の学ぶべきは人格の大きさと言われている。この臨書の文字中の空間美は、その点を見事に捉えられている。(解説 杉山晁雲)

書象会通信条幅研究会課題の解説（令和二年二月～四月まで）

信山流



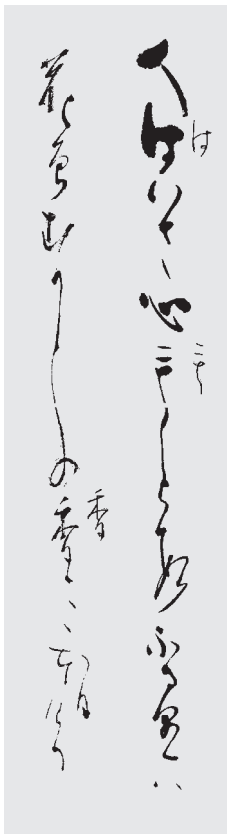
今回の課題は、信山流の基本点画を学習するには最適です。一字一字の構造を確
認しながら、全ての点画に逆筆（中鋒・藏鋒）を効かせて運筆してください。
潤…偏と旁の間に広い空間をつくり、構造を広くする。
北…一画一画、逆筆を効かせながら運筆し、中央の空間を意識する。
春…左払いの筆先を捻りながら運筆し、空画で止める。右払いは運筆を一度止め、
逆筆で再度払い空画で止める。
天…左払いは筆先を捻りながら腕全体で大きく抜く。右払いは、唯一逆筆でない
運筆、切れ良く打ち込む。
樹…空間の取り方に留意し、大きくならないように上部四文字とのバランスに留
意する。

隸書



ニジミ、カスレ、墨色の変化があれば、作品に立体感が生まれ生き生きとした表現
になります。
「春雲」には十分な墨量が入っています。「長似」で少しカスレを見せます。カ
スレの部分は線が細くなりがちですから筆圧の強さを意識して下さい。点画の形が
わかりにくいところもありますので、参考のため一部図示します。

仮名



お手本全体をみていると、一行目、墨がたっぷりにつき、さらりと一気に書きす
すめられています。これは、筆をしっかりと持ち、腕を使って書くことにより、重
くならずハリのある線が表現されています。
二行目は一行目に対して墨は少なく、渴筆で軽快さを見せていますが、線は強く
精彩さを感じさせています。
これらを理解し調和させて、美しくまとめましょう。

正師範紹介



書は一生の友

湊支部

小森 晟玉

この度は正師範の認定を頂き、誠にありがとうございました。以前より書を学びたいと思っていました。平成二〇年家の転居をきっかけに先輩より武井先生を紹介していただき、先生のきめ細かい熱心な御指導と会の皆様・家族のやさしさにここまで続けて来る事が出来深く感謝しています。「書は一生の稽古なり」の言葉に胸に書のお深さを知りこれからも歩みが続いて行きたいと思えます。今後とも御指導よろしくお願致します。

書とめぐり会えて

若宮支部

佐藤 梗紗

この度は正師範の認定を頂き有難うございました。六十を目前に退職して何も打ち込む事がなかった日々。知人の紹介で坂本榎月先生に習い始めました。先生は、この十年間書の楽しさ奥深さを教えて頂き、正師範まで導いて下さいます。先生の温かく熱心なご指導と励ましのおかげです。心より感謝申し上げます。先生はじめ共に学ぶ書友に出会えた事は、大きな支えとなり楽しくここまで続けて来る事ができました。これからもご指導よろしくお願致します。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

目標

杉月支部 中三

長元 虹歩

私が書道始めたのは、左利きのため毛筆の筆を右に持ち替えて書くためでした。今回ずつと目標にしていた特待生に合格することができ、とてもうれしかったです。支えてくれた先生や家族に感謝しています。支部長先生より一言 良く頑張りました。次の目標は細字や仮名文字を右手で書ける様に努力し、書道を宝物にしましょう！



根気の花丸

杉月支部 中三

鎌田 直樹

僕は幼稚園年長から習字を始め、中三でやっと特待生に合格しました。ここまでこれたのも先生や親の協力、そして何よりも自分の根気に自信を持ち、部活動と共に頑張れたことです。これからも励んで行きたいです。支部長先生より一言 部活の顧問、仲間を支えられ楽しい時間の中で筆を取り最後に勝ち取りましたね！おめでとう！

頑張ります！

杉支部 中二

小川 晏

今まで約六年間、習字を楽しくつづけることができたのは先生や両親のおかげです。硬筆でも特待生になれるようにこれからより頑張っていきたいです。支部長先生より一言 自然体でコツコツ続けて着実に実力をつけています。素直な気持ちで立ち向かっている姿がすばらしい。

嬉しさと楽しさ

右文支部 中三

古河 純 怜

私は、今回「特待生合格」という大きな目標を達成することができてとても嬉しいです。硬筆は二回目で受かったので頑張って良かったです。本当に、ありがとうございます。支部長先生より一言 硬筆の特待生合格おめでとう。二回目の挑戦で合格できて良かったです。これからも努力あるのみ！



特待生

右文支部 中三

清水 愛奈

私は、小学二年生から書道を始め、毛筆でやっと特待生になることができました。指導してくださった先生や、見守ってくれた家族に感謝しています。また、硬筆の方も頑張っていきたいです。支部長先生より一言 毛筆合格おめでとう。部活が忙しい中、コツコツと頑張ってきましたね。次は硬筆も合格目指そうね。

目標達成

妻科支部 中二

西澤 慶

目標であった毛筆と硬筆で特待生になることができました。とても嬉しいです。習字を続けてきて良かったと思えました。ここまで頑張れたのも先生のおかげです。本当にありがとうございます。支部長先生より一言 目標達成おめでとう。文武両道頑張りましたね。お世話下さるパーバにも感謝を忘れぬ様に！

継続

美菜支部 中二

石原 光

六年間書道を習ってきましたが、その中で一番生活の内容ががらりと変わった中学生になった時、書道を続けるのが難しくなりました。しかし今は、その時あきらめずに、続けて特待生合格になることができ嬉しいです。支部長先生より一言 中学生になり部活との両立は大変そうでしたが、書き始めると熱心に書く姿は感心、今後が楽しみです。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)



念願

美葉支部 中三

長門 佐桜

今回、やっと毛筆の特待生になりました。念願であった「二冠達成」を実現することができました。書道を通して色々な事に挑戦することができてよかったです。色々な人に感謝しています。ありがとうございます。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。学生展、臨書展にも出品、努力家の佐桜ちゃんです。これからも期待しています。



あこがれの特待生

書之会支部 中三

杠 くるみ

私は一度特待生試験に落ちてしまいました。次も落ちたらどうしようという不安がありました。しかし、針原先生がたくさんアドバイスをしてくださりそのおかげで念願の特待生になることができました。支部長先生より一言 三年生の忙しい学校生活の中努力が実を結びましたね。おめでとう!!高校でも更なる飛躍を期待します。



特待生になって

書之会支部 中三

栗川 陽愛

私は、小学校三年生から書道を始めました。ここまですべて続けてこられたのは、熱心な先生や家族、切磋琢磨できる親友がいたからです。今後は、高校と硬筆の特待生の合格の両方を掴み取るよう、頑張っていきたいです。支部長先生より一言 学校と塾、勉学に追われる中三の時期に、めざした特待生合格。おめでとう!!二冠達成に期待します。



先生のアドバイス

美二支部 中三

佐宗 美優

私は毛筆は目標達成し次は硬筆もと思い練習をしていましたが、なかなか目標に届かず悩んでいました。でも、先生のアドバイスのお陰で目標を達成することができました。有難うございました。書道は継続したいです。支部長先生より一言 二冠達成お目出度う。これからも色々なことに書道を活かして下さい。次の目標に向かって頑張れ。



努力の結果

霞墨支部 中三

堀江 羅未

私は小学一年から約八年間、習字を続けてきました。特待生を目標に頑張り、念願であった特待生になることができました。八年間、教えてくださった先生ありがとうございました。この経験を今後に生かしたいと思います。支部長先生より一言 本当に努力しましたね。その姿は、剣道の精神からも来ているのでしよう。おめでとう。頑張れ!



本当に嬉しい!

りんりん支部 中二

早川 実桜

私は、年長から書道を始め、特待生を頂くことを目標に一生懸命頑張ってきました。今回、硬筆の特待生を頂くことができ、本当に嬉しく思います。次は毛筆の特待生を目指して頑張っていきたいです。支部長先生より一言 「継続は力なり」正に言葉通りよく頑張ってきましたね。毛筆もこの頑張りできっと特待生になれます。



感謝の気持ち

大阪支部 中二

前田 晶子

私は小学一年生のときに書道を始めました。今までこつこつ努力を積みかさねることができたのは、先生のご指導や応援してくれた家族のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、さらなる上達を目指してがんばります。

支部長先生より一言 黙々と集中して書いている姿が印象的、字形もとても整っていて安心です。合格おめでとう。



感謝

霞墨支部 中二

藤田 羽純

私は、小学校二年生から書道を始めました。そして、目標として目指していた特待生になれたのは、今までご指導してくださったり支えてくれた先生や家族のおかげです。とても感謝しています。支部長先生より一言 やさしさと、内に秘めた強さを持っていきます。努力の結果の勝利ですね。頑張りましょう。おめでとう。



目標達成

雅支支部 中二

山地 菜生

私は小一から習字を始め、特待生になることを目標に日々努力してきました。上手に書けなくて嫌だと思わなかったです。これからは、行書と隷書を頑張ります。支部長先生より一言 集中力抜群な菜生さんやっただね。二冠達成おめでとう。行書隷書も勉強したいとの事、頑張りましょう。

少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

正桂支部 小三 高橋 ひいろ



しっかりとした字を書きます。妹と一緒に遠くから通ってくれます。集中力もあり毛筆、硬筆共に目に見えて上達しています。お母さんの躰と教育が素晴らしい!!

正桂支部 小一 高橋 あおい



集中力もありおけいこ態度も大変良いです。毛筆、硬筆共にどんどん上達しています。嬉しい事にお母さんも小学校の時当教室に通ってくれていました!!

大阪支部 小五 池田 創



体育と本を読むのが好きです。少年野球も書道も熱心に取り組んでいます。しっかりと書く事ができ、学生展でも良い成績をおさめ、大いに期待しています。

大淀支部 中一 松本 哲 弥



中学受験後入会され小2からの剣道などと両立しながら真面目にお稽古する様子も頼もしく性格や育ちの良さも相まって将来楽しみに生徒さんです。

渚支部 小六 三笠 心



毎週休まず、仲よしの下級生と一緒におけいこに來ています。毛筆は最近メキメキ上達してきました。優しい心ちゃん、上を目指して頑張ってくださいませよう。

大阪支部 小三 池田 慧斗



幼稚園の頃から習いはじめ、元気の良い字を書いて成長が楽しかったです。今では自分で考えて書けるようになりました。少年野球もがんばっています。

瑞祥支部 小四 大橋 茉緒



多くの習い事の中でも三歳から続けているバレエには大きな夢を持っています。書道も書き初め大会で金賞を受賞する腕前。目指すのは勿論 特待生です。

大田支部 小六 中村 琴音



琴音ちゃんは体を動かすことが好きな活発な女の子。特に団結力が高まるバスケットボールが得意です。これからもいい作品期待しています。

中野支部 小五 塩川 玄



笑顔のかわいい女の子、野球、ピアノ、書道と頑張り屋さん。弟の周君も余分なおしゃべりもせず立派。玄君はお父さんのお仕事の後をつぐ次期社長とか。

瑞祥支部 中二 稲元 碧



友人の信頼が厚く、勉強だけでなく多岐にわたって才能を発揮している碧さんの将来は未知数だとか。運動も大好きで、今はサッカー部の練習に夢中です。

大田支部 小五 海瀬 由安



由安ちゃんは三歳からピアノを始め、七年間ずっと続けています。リズムに合わせて弾くピアノが楽しく、たくさんの花丸をもらっています。

中野支部 小六 池田 愛香



小さい時から教室にお母さんと通っています。学習塾にも通ったり忙しい毎日のようです。書道塾では小さい子供さんのめんどろを覚えてくれる愛香ちゃん。



△隷書条幅▽ 評 柳澤 玄嶽

渋谷静秀 豊潤な線の味わい隸書豊かで品格有り。

塚原花瑠 淡墨で線に暢びが有り、躍動感に富む。

杉本統華 直筆による線の深さと含墨の美しさで味わい有り。

新井谿祥 基本に忠実な用筆で鈍度の深さ見事。

遠藤翠雅 丁寧な筆致で瀟洒にまとめ余白も佳。

岡本秋麗 中鋒の安定感ある線と正確な字形立派。

宿谷硯心 鈍度が高く運筆を楽しむ余裕すら感じる。

井上秋河 濃墨で重厚かつ力強く大胆に書き上げた。

△条幅随意▽ 評 中村 巍山

仲島秀峰 芯ある強い線で大胆な運筆。緊張感有。

鈴木花仙 筆の開閉が自在で連綿体のスピード感佳。

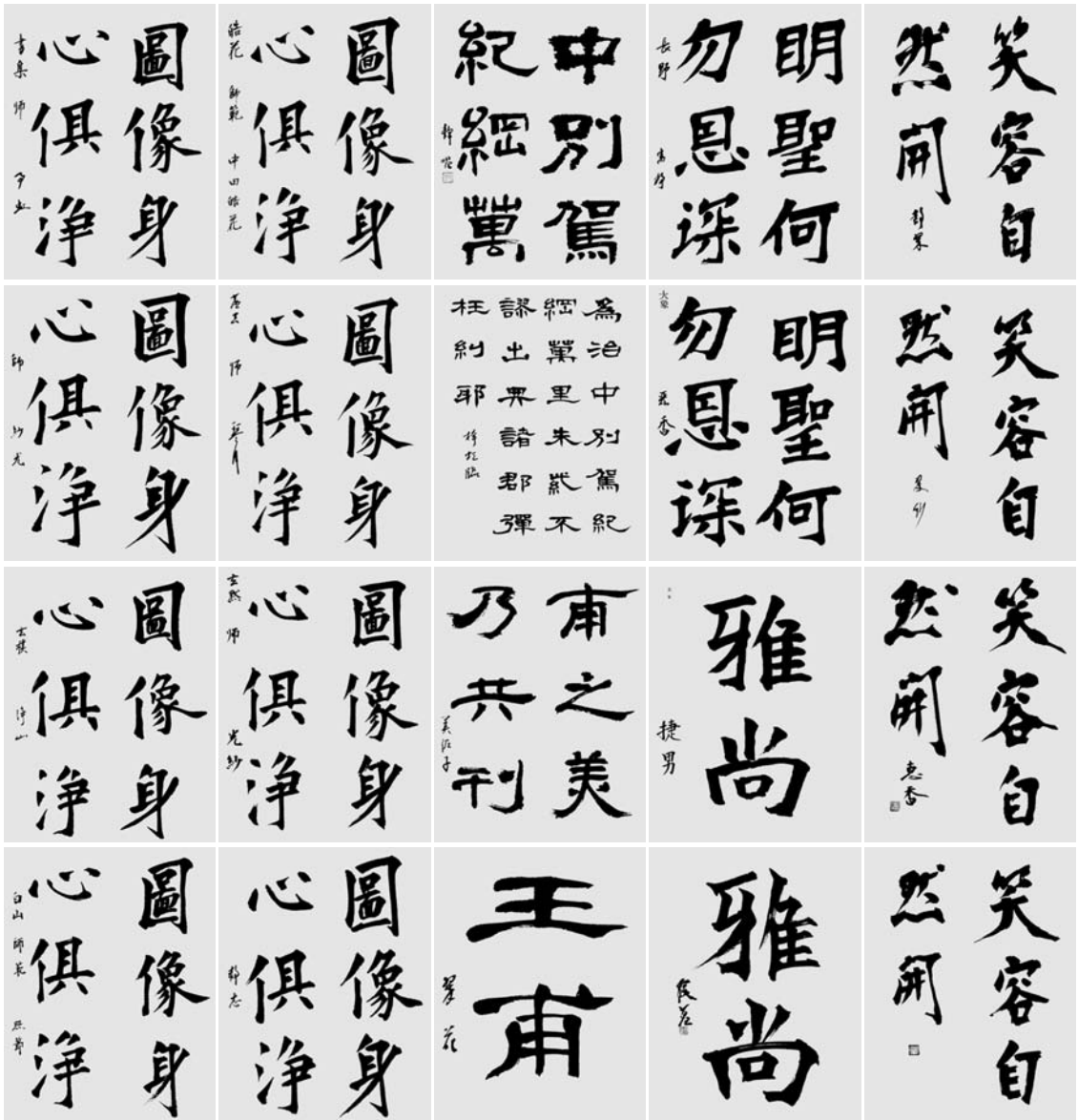
大賀霞泉 洗練された熟達の妙、流麗に仕上げた。

△通信条幅▽ 評 樋口 玄山

井上雅幸 強い貫通力。流れにブレがない。

河田邦楓 水平、平行、等分割、基本が出来ている。

横井萌玉 芯ある強い線で緊張感に満ち貫通力有り。



基本課題

評 田中 珠光

小暮静翠 信山流をしっかりと捉えた豊かな作品。
 竹野翠紗 一画一画基本に忠実で空間も美しい作。
 上條恵香 豊富な墨量と筆遣いで深味のある作品。
 佐藤西沙 形良く骨力あり、伸びやかな作となった。

研究課題

評 小川 仙草

富 静 丁寧にまとめられた作品。この調子。
 麗 香 力強い線で書けて全体感の良い作品。
 捷 男 原本に忠実に書けた。この姿勢で良。
 霞 菖 スピード感のある線質で仕上げられた。

古典課題

評 久保 妍山

静 唱 重厚な線で全体感良くまとめられた作。
 梓 虹 隸書の線質で書かれて、雄大にできた。
 美佐子 動きのある線で伸び伸びと仕上げた作。
 翠 花 ゆったりとした線で書けた。迫力あり。

師範部

〈楷 書〉

評 柳澤 玄嶽

中田皓花 背勢構造を巧みに表現した清冽な作品。
 小西琴月 軽快で伸びやかで透き通った線が魅力。
 高平光紗 終始一貫したリズム、等圧で深み有る線佳。
 近藤静志 腕法を効かした強靱な線、安定感有り。
 金山雨虹 静謐な書きぶりで、清涼感漲る秀作。
 大島紗光 濃墨でありながら腕法が安定し線形佳。
 清武浄山 平行、等分割の基本に徹した余白美佳。
 北村照節 冷靜沈着な作風で端正で点画で潤雅な作。



△仮名▽

評 中村 巍山

高橋天翠 線質暢達にして爽やかな雰囲気醸す。
 齋藤美悠 剛健な力強い筆致が作品に迫力を生む。
 西村雪園 切れ味の良さに筆遣いの巧みさを見た。
 岸葉草 美しい線質結構の正確さ光る。余白美佳。
 前山景草 伸びやかで丁寧な運筆。真摯な姿勢佳。
 垣内孝子 一点一画心を込め直向きな習作態度佳。
 片岡珠松 等圧の線表現で静韻な味の出した努力作。
 稲田テツ子 手本に忠実で細部まで神経が注がれた。
 小映 瀟洒な雰囲気の中に澄みきった線でよい。
 光紗 大胆な運筆で切れ味抜群。渴筆もうまい。
 壺登 健康的な線でダイナミックな作品となった。
 美知子 骨力があってよい。連綿ものびやかだ。
 小瑠 甘さが漂う、太い線で統一され秀作だ。
 名洗 手本に忠実に取りくんでいる明い作。
 谿山 鋭い線で冴えがある。清澄な響きあり。
 壺水 潤渇の対比みごと。カスレ特にうまい。
 緑水 水形、線質ともによい。心地よさを感じる。
 壺藍 自然な流れで全体をまとめ明るく上品だ。
 泰帛 淡々とした中に線も伸び爽やかな作だ。
 絢楓 大胆な運筆だ。穏やかな中に骨力もある。

中三 清田波琉 和歌	二年 つか本大ひ 木つみ	小四 愛美 夜あけ空	小六 栗本実紅 信念	中二 清水栄花 公害防 止策
伊奈 小六山田悠菜 出発	小三 あり 木つみ	美菜 四年中 榮華 夜あけ空	小六 萩久 保侖 大 信念	止策 彩乃 公害防
小三 高橋理彩 時	小一 姿 ふじ	小三 妃葵 雪だるまだ	高風 藍 希望の朝	中二 六段 井澤日菜 好きな 科目
小二 山七き まい 車	小一 ひろたるうと ふじ	小三 出口綾子 雪だるまだ	龍文 寧々 希望の朝	科目 中一 あや花 好きな

学 生 部

評 蕪木 珠紅

清水栄花 なめらかで豊かな作品。すばらしい。
中島彩乃 ていねいな書きぶりで安定感がある。
井澤日菜 筆使いよく大らかな作品に仕上げた。
高山綾花 引きしまった線質が見事。

栗本実紅 堂々として迷いが無い。立派です。

萩久保侖大 転折がピリリと効いて引きしまった作。

川崎 藍 のびやかで気持ちスカッとする作品。

今尾寧々 一点一画でいねいにしっかり書けている。

谷川愛美 伸びやかさと充実感がありとても良い。

柳田梨華 見事な「夜あけ」になりました。

三上妃葵 大らかにのびのびと書いている。

出口絵子 じっくりていねいに書きあげた。

塚本太陽 ゆったりとした書きぶりがよい。

原島朱璃 右はらいがじょうず。ていねい。

阿部帆乃佳 うでが大きくうごいていきおいがある。

廣田瑠斗 ふっくら、ゆったり、じょうずです。

半紙 随意

評 鈴木 草影

清田波琉 一点一画でいねいな作品。形線ともに佳。

山田悠菜 のびやかな線です、堂々とした作品。

高橋理彩 形よくゆったりと良く書けています。

山崎麻衣 力強く大きくしっかりと元気な字です。

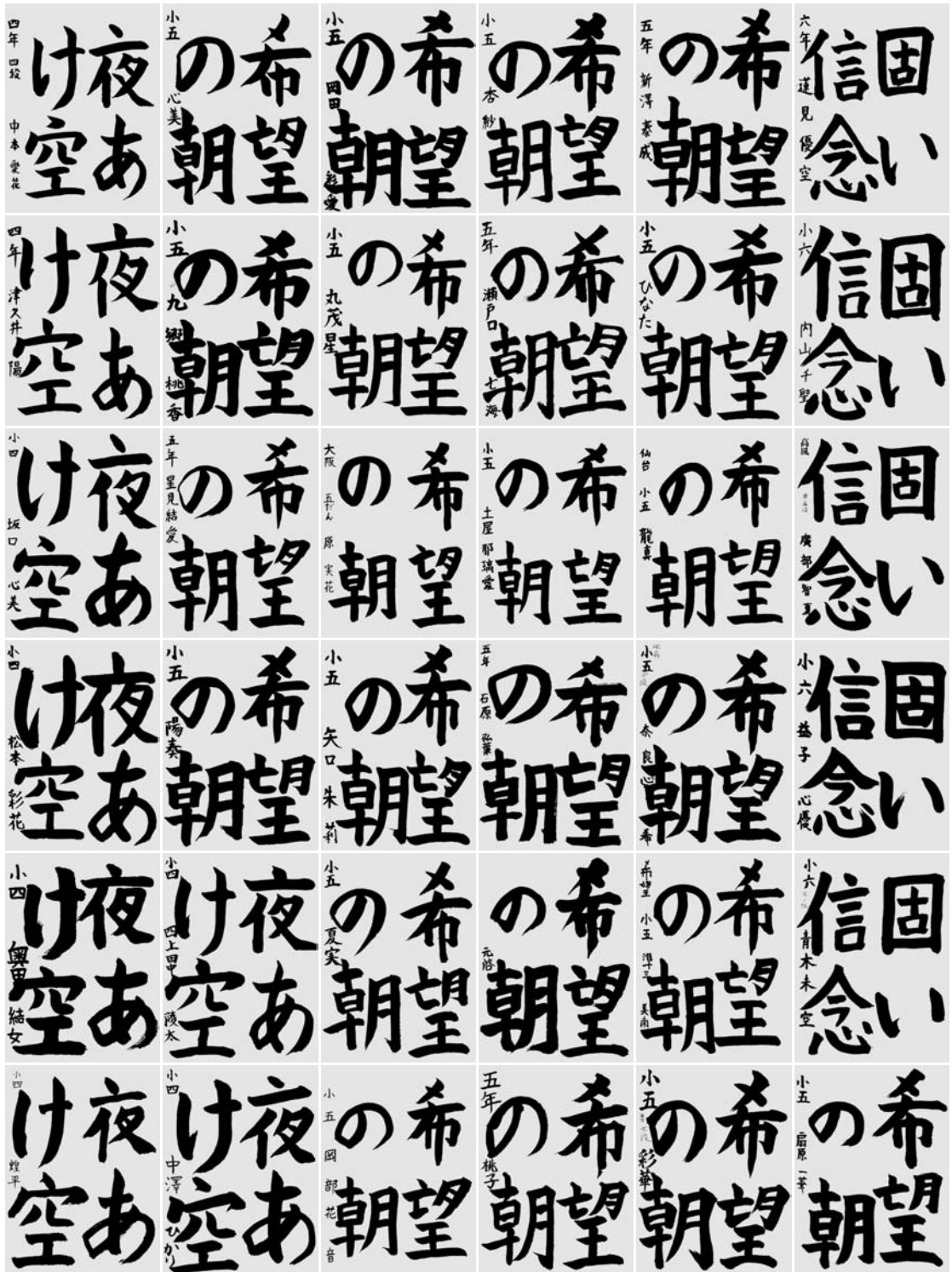
このページに掲載された人には書家会より記念の筆をさし上げます。

		開悟 宝香 長山美希			圖像身 心俱淨 八南 五段 落合江水
		開悟 文化 四段 美佐子			圖像身 心俱淨 瀨二 五段 四角 出口陽菜
		開悟 若松 五段 片山雅子			圖像身 心俱淨 徳 五段 寛子
		開悟 城彩 純子			圖像身 心俱淨 言 四段 純子
		開悟 四谷 七段 大貫美陽			圖像身 心俱淨 天 四段 羽龍珠
		開悟 小光 八段 井上和江			圖像身 心俱淨 有 初段 大嶋碧

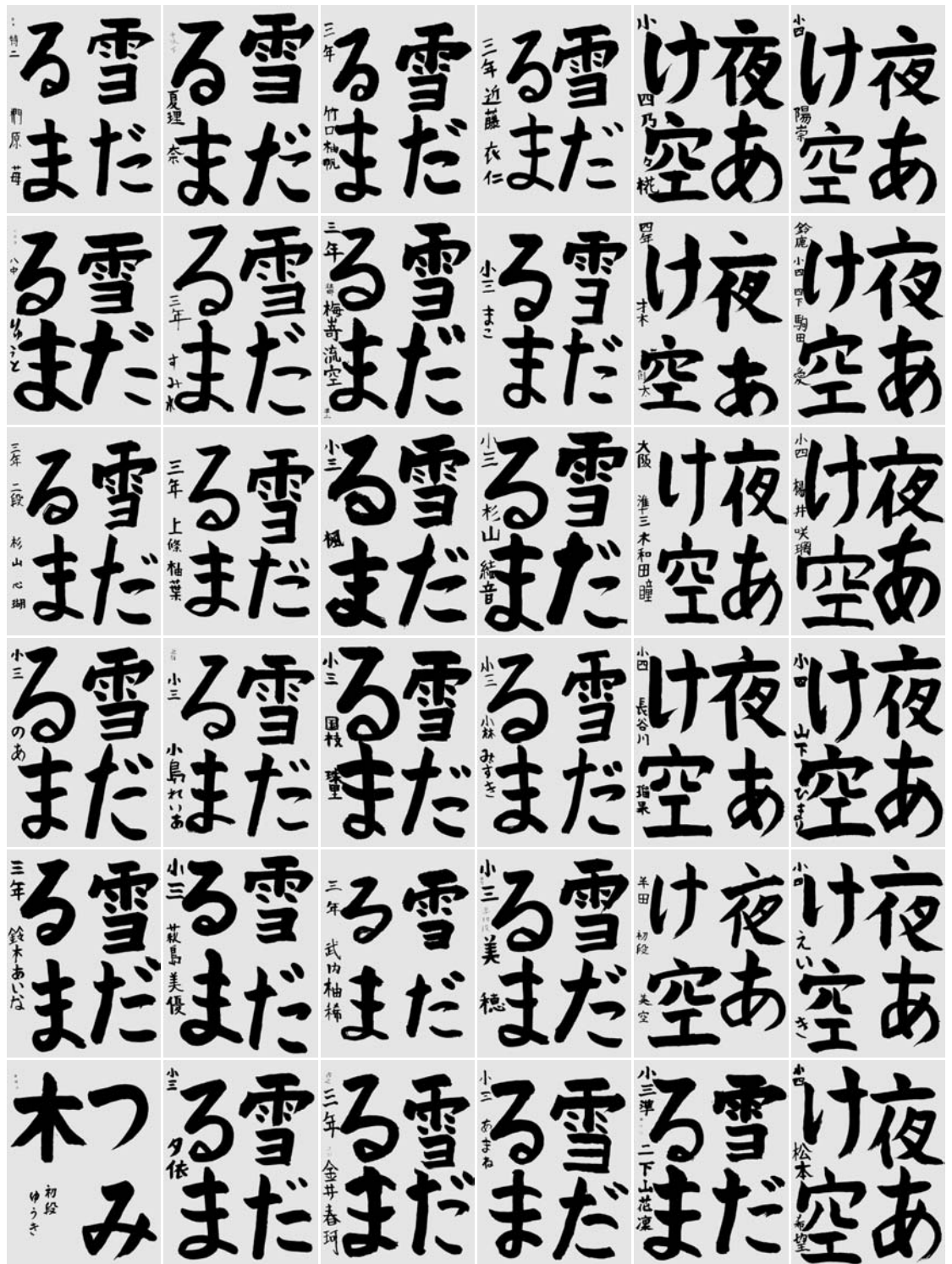
- 〔楷書〕
八南 落合 江水
横二 田島 盛雪
倭 小田 昭子
玄樸 加藤 穂乃香
大阪 後藤 田翔珠
八戸 江戸 恵香
横二 齊藤 蕙雪
船橋 出口 陽菜
東根 児玉 翠園
信大 杉崎 寛園
柏芳 羽田 龍雄
有象 渡邊 橙泉
麗墨 谷脇 立子
美二 門倉 奈々美
練馬 金井 塚恵
社会 泉水 敬子
石峯 桐原 文彦
優生 長嶋 文彦
宝春 長山 美希
文化 住吉 美佐子
若松 片山 雅子
城彩 緒方 純子
小光 大貫 和江
〔仮名〕
高風 小林 真志
横二 高橋 辰雪
華雪 森田 由紀子
石峯 唐津 由香里
瀬戸 安藤 ちづ子
晏墨 米倉 節子
汀松 作森 ミドリ
有象 渡邊 橙泉
〔級位〕
杉 小林 幸子
秀雪 川口 水輝子
中央 平野 夏輝
東根 佐藤 ほえみ

六年 小川明編 信固 念い	小六 波邊美那 信固 念い	小六 杏紀 信固 念い	美築中一 六段 嘉嘉帆子 科目 好きな	止策 中二 晴臣 公害防	止策 中二 玲華 公害防
小六 宮田帆乃果 信固 念い	小六 上野かれん 信固 念い	小六 野田瑞姫 信固 念い	中一 助川唯 科目 好きな	中二 六段 佐藤舞果 止策 公害防	中三 特待生 落合里名 止策 公害防
小六 沢野里帆 信固 念い	聖小六 平林心羽 信固 念い	小六 鼓乃 信固 念い	中 榎本美月 科目 好きな	中二 久保凜風 止策 公害防	中三 松尾 允悠 止策 公害防
美月 信固 念い	小六 柚希 信固 念い	小六 芽依 信固 念い	中一 夏生 科目 好きな	中一 原澤 萌 科目 好きな	杉月 熊野枝望 止策 公害防
六年 成田しおり 信固 念い	小六 光悠 信固 念い	小六 心咲 信固 念い	中一 大之 科目 好きな	中一 鳴原麻央 科目 好きな	上尾 中二 竹村相太 止策 公害防
杉月 大森由葵 信固 念い	宮川 澤五 田下 信固 念い	小六 結衣 信固 念い	中一 津六 古田 裕基 科目 好きな	中一 五段 國部 心 大 科目 好きな	中三 紗和子 止策 公害防

〔毛筆〕
 中二 三
 秀雪 倉形 玲華
 名東 落合 里名
 高社 松尾 允悠
 杉月 熊野 枝望
 上尾 竹村 柑太
 華雪 森本 晴臣
 この 池田 舞果
 飯山 佐藤 凜風
 練馬 久保 凜風
 〔中一〕
 中野 原澤 萌
 華雪 鳴原 麻央
 美菜 園部 心大
 美菜 関根 嘉帆子
 みな 助川 唯
 房風 榎本 美月
 正桂 白濱 なつき
 月 鈴木 大之
 瑞祥 吉田 裕基
 〔小六〕
 光丘 小林 杏紀
 青雲 野田 みずき
 みな 石川 鼓乃
 名東 岩月 芽依
 水代 倉科 いさき
 秀雪 堂上 結衣
 有虹 渡邊 美那
 高社 上野 かれん
 聖 平林 心羽
 華雪 笹嶋 柚希
 一絵 薄井 光悠
 宮川 田下 明日香
 神奈 小川 明璃
 玄黙 宮田 帆乃果
 練馬 浅野 史帆
 玄樸 岡村 美月
 シー 成田 しおり
 杉月 大森 由葵



竹華	杉雪	高社	平成	皓花	千曲	名東	〔小四〕	凜心	平成	倭九	名東	若宮	光丘	霞墨	大阪	茅野	千曲	山愛	玄樸	美苑	御代	宝春	若松	華雪	希望	硯扇	仙台	秀雪	この	玄黙	〔小五〕	照澤	霞墨	高風	優生	大田
上原	奥田	松本	坂口	津久井	中本	中澤	田中	秋山	星見	九郷	畑野	岡部	岩田	矢口	原	丸茂	岡田	郷農	永富	石原	土屋	瀬戸口	池田	齊藤	増田	奈良	岩崎	高橋	新澤	扇原	青木	益子	廣部	内山	蓮見	
煌平	結女	彩花	心美	陽	愛花	ひかり	陵太	陽奏	結愛	桃香	心美	花音	夏実	朱莉	実花	星	彩愛	桃子	元啓	弘葉	那璃愛	七海	杏紗	彩華	美南	心希	龍真	泰成	一華	未空	心優	智夏	千聖	優空		



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-------|----|-------|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 若松 | 鈴鹿 | 星 | 練馬 | 中央 | 有虹 | 大阪 | 蔵 | 半田 | 葉月 | 大田 | 富土 | 凛心 | 竹華 | 華雪 | 若松 | 源創 | 往郷 | 有象 | 玄黙 | 柏心 | 書之 | 雅 | 山愛 | 湊 | 北府 | 霞墨 | 光丘 | 石峯 | 英二 | 皓花 | 秀雪 | 新瀨 | 美二 |
| 白土 | 駒田 | 楊井 | 山下ひまり | 岡部 | 原田乃々栂 | 木和田 | 長谷川 | 丸山みそら | 下山 | 近藤 | 宮岡 | 杉山 | 小林 | 石坂 | 岩間あまね | 梅崎 | 廣瀨 | 國枝 | 武内 | 金井 | 小泉 | 小泉 | 費 | 上條 | 小島 | 萩島 | 岩立 | 桐原 | 宮崎 | 杉山 | 池田 | 鈴木 | 吉村 |
| 陽崇 | 愛 | 咲璃 | 望季 | 希望 | 才木 | 和田 | 長谷川 | 丸山みそら | 花凛 | 衣仁 | まこ | 結音 | 瑞希 | 美穂 | あまね | 楓 | 珠里 | 柚稀 | 春珂 | 春珂 | 夏理奈 | 夏理奈 | 柚葉 | いあ | 美優 | 夕依 | 苺 | 琉翔 | 心瑚 | 乃彩 | 愛菜 | 優来 | |



- 皓花 芙二 松聲 霞墨 城彩 千曲 八潮 龍文 花蓮 朝日 一葉 中野 和華 華雪 虹苑 秀雪 中勢 光丘 珠紅 硯紅 個人 秀雪 小光 杉 華雪 若宮 中野 この 愛心 練馬 溪月 山愛 久喜 光丘 皓花 綾華
 堀藤 藤平 田村 島田 升田 藤川 恩田 松本 海野 照井 西脇 上野 小池 羽島 奈良 石川 成田 古谷 半田 河野 畑 松尾 藤田 小野 さやか 横田 須田 東本 庄司 齊藤 片山 石橋 上野 梅津 鮎川 藤崎
 美緒 耀子 知佳 結月 真綾 泰嘉 雲 一華 湊友 弘晟 優月 佑里 光真 大嗣 陽菜 莉奈 愛依 武留 波奈 理央 小野 さやか 須田 ななか 東本 紗英 笑理 謙音 片山 瑞音 片山 璃音 上野 桜子 凜人 菜央 咲衣

浅唐太郎、山田耕作、信时傑と
 三人の作曲家の名簿が手紙で
 日本人の心傷を救いよる。

恐竜は、この地球を一億年以上にわ
 たって支配した、大変優れた生物
 種だったそうです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

ねずみのちのち
 ヨッキは赤と青の
 よこしまだ

浅唐太郎、山田耕作、信时傑と
 三人の作曲家の名簿が手紙で
 日本人の心傷を救いよる。

恐竜は、この地球を一億年以上にわ
 たって支配した、大変優れた生物
 種だったそうです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

ねずみのちのち
 ヨッキは赤と青の
 よこしまだ

降りたけと帰れない政郷を離れて
 いとも双葉町はいつも心の中にある。
 震災持手板かゝる 濃心 柳二 朱音

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

ねずみのちのち
 ヨッキは赤と青の
 よこしまだ

恐竜は、この地球を一億年以上にわ
 たって支配した、大変優れた生物
 種だったそうです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

勉強を義務だと思っ
 けない。素晴らしいチャンスだ
 と思うことです。

今年の計画をし、かりと
 立てました。「一年の計は
 元旦にあり」

- (硬筆)
- 【一般】 信大 萩原 梓虹 名東 諏訪 彩奈 凜心 圓道 朱音
 - 【中学】 名東 谷口 優凜 有象 寺井 愛 松尾 知聖
 - 【小五・六】 静翠 林 紗菜 大象 木村 莉子 有穂 川久保美怜 北府 魚崎結莉愛 濱名 幸
 - 【小一・二】 志摩 西尾 美南 暁華 福田 琴子 竹華 会田 深姫 玄嶽 塚越 琴瑛 小三 高島 彩月 神奈 高島 彩月 華雪 笹嶋清志郎 湊 小林 愛莉 八潮 関根 杏樹 倭 加藤なのは 綾華 藤崎 竜也
 - 【小一・二】 霞墨 玄黙 龍文 若松 原口れいじ 板橋 壽山 彌英 颯真

競書成績

□写真版 ☆寫作 ○昇級

Table with columns for author names (e.g., 樂山秀幸, 巍山秀霞, 岡谷秀通) and their respective book titles or categories. The table is organized into multiple rows and columns, with some cells containing multiple characters or symbols.

志源小中	淡藏静若	瑞祥	書之風	高鳳	春風	長野	静久喜	雅美	妻科	美生	書集	皓霞	高風	北京	磯都	高風	葉月	玄嶽	文樸	倭宮	巍山	築書	瑞祥	皓風					
道邑光	晨華	静耕	名名	蕙翠	祥春	靜富	恒玲	静美	雅雅	李惜	蓮雨	籍泉	翔虹	憬清	閑頌	邦葉	白陽	美智	双爽	梗華	宏青	澄名	晴皓	蒼蒼					
峯霞	采秀	遥香	山伯	芳瑞	翠仙	鳳邦	静静	鶴子	染春	江春	堤虹	祥光	霞花	風子	山楓	葉苑	美智	子葉	芳節	華美	沙江	瑠沙	花風						
書葉	北府	高野	松戶	有松	曉月	倚雲	瑞祥	奈陽	東華	寶春	淺苑	江新	四石	芙二	笠原	茅野	聖備	藏杉	巍山	玄八	南	巍若	山駒						
和葉	秀敏	嘉真	誠ゆ	子扇	白瑶	紗山	華山	苑雲	美泉	子江	香江	彩登	麻里	永泰	知光	石光	みち	泰文	峰富	惠昌	梅探	明清	大旭	齊天	希伊	晨真	聽		
子米子	菜み	子子	扇	白瑶	紗山	華山	苑雲	美泉	子江	香江	彩登	麻里	永泰	知光	石光	みち	泰文	峰富	惠昌	梅探	明清	大旭	齊天	希伊	晨真	聽			
皓花	東根	硯古	董書	聖樞	静	【隷書条幅】	李光	中高	巍山	苑雲	美泉	子江	香江	彩登	麻里	永泰	知光	石光	みち	泰文	峰富	惠昌	梅探	明清	大旭	齊天	希伊	晨真	聽
花秀	秀秋	秀秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋	翠秋
花風	河心	麗秀	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥	華祥
岡静	巍山	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀
明峰	映水	菖影	舟蕙	慧悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠
茅野	志樞	樺山	葉秀	房勢	白岡	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府	董府
豐里	峰山	山玉	舞山	桐舟	光華	琳楓	山里	仙香	窓琴	遠紅	紅紅	秀心	花舟	清仙	惠州	虹春	泉楓	舟麗	葉李	鈴曉	光光	花山							
映美	房風	茅野	笠原	中勢	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹	若竹
映映	照青	晝正	峰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰
芳華	祥子	泉裕	純純	弦恭	桂桂	帛帛	煌輝	耀富	子亨	薰吟	邦邦	柚城	姬惠	翠翠	華華	靜靜	唱千	映映	静月	子雪	華華	嶽嶽	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華
紅相	サ竹	浅間	美菜	国府	樺尾	上尾	富貴	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美	美美
泉美	瑛秀	齊美	鶴素	光惠	佳康	壺重	藍天	明齊	莖莖	響齊	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康	康康
志音	舟峯	光風	仙苑	風水	星嶽	連藍	品子	采花	笛雪	珀佑	山峯	春仙	沙紅	草西	仙光	秀彩	芳苑	宛明	草明	涛光	春遥	静玉	玉春	春泉					
玄神	巍山	笠遊	八南	麗大	静静	樞樞	八樞	白樞	瀨戶	玄樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞	樞樞
越整	西西	江泰	泰遊	冬琴	紅圭	静度	逕寿	瑞照	喜草	友典	晶蒼	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺	嶺嶺
山子	英草	西松	空嘉	雅雅	羽川	苑成	山月	月選	節春	竹梅	山玄	花紅	舟舟	盤聲	次舟	羽風	華一	雄造	子子	行行	峰峰	舟光	爽岳	山苑					
小源	春川	有象	北府	伊奈	中野	小光	玄松	杉南	碩雲	淺間	新城	蒼玄	書玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄	玄玄
流香	節比	愛花	隼康	穗小	光光	柚輝	明厚	採武	真祥	韶李	愛湖	佐理	妍李	葵李	蕙士	智雨	濤雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪	雪雪
溪文	真静	麗野	庭墨	那風	華那	霞華	惠香	山光	浩静	泉香	光泉	子龍	月葉	翠翠	鳳洲	嘩虹	花園	沙月	象美	江西	紗風	山子	花意						
右神	有静	長霞	高風	京都	竹華	半東	東陽	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都	京都
梢患	静静	静静	雪白	憬彩	照照	景桂	千良	雅博	典典	純純	瑞瑞	夕晚	暉暉	京京	青香	玉惠	我翠	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉	玉玉
陽苑	苑苑	琳琳	吟霞	花楓	鈴鈴	城翠	苑苑	幸楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓
玄春	映飯	小信	飯有	雅雅	磯虹	巍映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映
光點	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀	秀秀
紗節	華苑	秀虹	翠節	映楓	雪雪	笙岑	志忠	己艸	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映	映映
桐美	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容	笠容
涛晨	泰明	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰	泰泰
石英	帛患	舟桂	峰嶺	松扇	芳祥	笙笙	羽羽	舟舟	梢翠	己爽	爽爽	詠華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華	華華
華玄	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機	雪機
華小	邦明	禮紀	津詢	美信	貞知	裕閑	弘夏	夏か	菜悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠	悠悠
駿楓	楓美	子子	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓	楓楓

Table with 10 columns and 100 rows of names and grades. Columns include names like 坪井日, 佐藤心, 根岸楓, etc. Rows represent different groups or events. Includes a legend at the bottom: □は写真版 (昇級しない) ○は昇級 (1階級昇級する) ☆は秀作 (同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

□は写真版 (昇級しない) ○は昇級 (1階級昇級する) ☆は秀作 (同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with 10 columns and 25 rows of names and numbers. Each cell contains a number (e.g., 3, 4, 5) and a name (e.g., 遠藤紀, 菅野紗, 梅原由). Some cells contain branch names in bold (e.g., 久喜支部, 玄嶽支部, 虹苑支部). The table lists members of various clubs and their associated numbers.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Main table containing names, grades, and other details for various individuals. The table is organized in columns and rows, with names and their corresponding grades (e.g., 準一, 初段, 二段) listed. Some names are followed by their respective club or association names (e.g., 須坂支部, 石峯支部).

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with 10 columns and 20 rows of names and numbers. Each cell contains a number (e.g., 2, 6, 1) and a name (e.g., 級○篠宮聖, 級○篠宮聖). The table is organized into sections by vertical lines and includes various branch names like '茅野支部' and '船橋支部'.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 5 columns and 50 rows of names and grades. Includes sub-sections like '美苑支部', '美菜支部', '美那支部', '湊支部', '宮地支部', '名東支部', '杜の会支部', '有家虹支部', and '有家支部'.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

第82回 謙慎書道会展

第1会場 東京都美術館

期日 3月18日(水)～3月23日(月) 午前9時30分～午後5時30分

〈特別企画〉『文字の動物園』3月18日(水)～23日(月)午前10時～午後4時30分

—好きな動物の文字を書こう—

第2会場 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル4階

期日 3月17日(火)～3月22日(日) 午前10時～午後6時

〈特別企画〉『文字の水族館』3月17日(火)～22日(日)午前10時30分～午後5時

—好きな水辺の生き物の文字を書こう—

◆最終日第1会場は午後1時30分まで・第2会場は午後3時まで

◆第一・第二会場とも入場無料・会期中無休

〈デモンストレーション〉3月18日(水) 午前11時 杉山暁雲先生 (本会関係)

〈ギャラリートーク〉3月19日(木) 午後2時 山口啓山先生 (本会関係)

※デモンストレーション・ギャラリートークは、18日(水)、19日(木)、21日(土)、22日(日)の午前11時と午後2時

◇第2会場には特別賞選考委員の小作品が展示されています。

書象会便り

◆書象会授号式・総会・新年会

年頭恒例の書象会新年会が、去る一月二十六日(日)新宿京王プラザホテルで開催されました。午前十一時から47階「あけぼの」にて授号式が行われ、理事長市澤静山先生から一人一人に授号証が伝達されました。

正午からは、5階「コンコードボールルーム」にて総会・新年会を開催しました。総会では新年度企画の承認、会計監査報告などがありました。新年会は、理事長市澤静山先生の年頭所感、各種表彰、鏡開きと乾杯、ビデオ担当による「二〇一九書象この一年」の上映、景品抽選会、その後は先生方からの色紙プレゼントなどで盛り上がりました。二四〇名を超える参加者は、ゆったりとした会場で年頭の挨拶を交わし、終始和やかなパーティーとなりました。詳細は次号に掲載いたします。

◆第59回書象展

標記の申込受付が、二月二十一日(金)となっております。なお添削会等の日程は次の通りです。

3月8日(日) 添削会 武蔵野公会堂(3階)

3月15日(日) 添削会 武蔵野スイングホール(10階)

3月29日(日) 最終選考会 武蔵野スイングホール(10階)

※最終郵送受付 3月25日(木)本部必着のこと

◆謙慎書道会年頭顔合せ会

標記の新年会が一月十九日(日)銀座東武ホテル二階「桜の間」にて開催されました。本会からの出席者は次の通りです。

田中節山 市澤静山 内藤望山 山口啓山 江上玄光
荻田光山 小室墨汀 佐藤京香 杉山窓影 鈴木卓影
関 香風 竹内青紗 竹内墨洋 田中珠光 寺尾碩雲
中内真意 早川雅節 樋口玄山 宮本耕成 横田小泉
吉田節城 柳澤玄嶽

《書展予告》

☆露崎玄峯展

会期 三月十三日(金)～十八日(水) 十一時～十八時
初日十三時から、最終日十七時まで

会場 銀座アーツスペース

銀座六―三―二 ギャラリーセンタービル4F
銀座駅C2出口より徒歩二分 泰明小学校前

《書展報告》

☆第18回松本市美術館友の会会員作品展

会期 一月十六日(木)～二十二日(水)

会場 松本市美術館

本会関係出品者

田中節山 市澤静山 内藤望山 樋口玄山 池口聖嶽

上條恵香 上條哲山 小林貞月 寺尾碩雲 二木廣山

藤牧峰雪 横田小泉

《お詫びと訂正》

二月号の書象会便りで、第82回謙慎書道会展(東京都美術館)の山口啓山先生の「ギャラリートーク」の時間を誤って掲載しました。お詫びし訂正いたします。上段の囲み記事でご確認下さい。

氏名

発行人 (有) 書象
代表 上 條 節 夫
発行所 東京都武蔵野市吉祥寺北町四―三―六
郵便番号 180-0001 電話 〇四三(五三)九七四三
振替口座 〇〇一九〇一七―二五六九一
振替名義 (有) 書象
印刷所 株式会社 リンクス